



Der Brückenpfeiler

2025年3月



Der Brückenpfeiler は「橋脚」という意味のドイツ語です

公益財団法人 日独協会 情報紙
Japanisch-Deutsche Gesellschaft
2025年3月1日発行（不定期発行）
編集責任：柚岡一明（編集長）公益財団法人 日独協会
〒160-0016 東京都新宿区信濃町 18-39 マヤ信濃町 2 番館
Tokyo, Shinjuku-ku, Shinanomachi 18-39, Maya Shinanomachi Nr. 2
TEL 03-5368-2326 / FAX 03-5368-2065
Website : <http://www.jdg.or.jp> Mail : jdg@jdg.or.jp

日独協会からのお知らせ

* 2025(令和7)年度 個人維持会員継続のお願い

1月末より、来年度の個人維持会員継続のお願い、および郵便局の「払込取扱票」をお送りいたしました。すでに、来年度の会費を多くの会員にお振込みいただき、誠にありがとうございます。

今後も会員の皆様に魅力ある活動と集いの場を提供できるよう努めて参りますので、引き続きご支援を賜りたく、まだお振込みをいただいていない方も新年度の個人維持会費の納入をお願い申し上げます。

2024年度末をもって退会される場合は、お名前と会員番号、退会希望の旨を書面（郵便、FAX、E-Mail）にてお送り下さい。なお、新年度の年会費が一定期間納入されない場合は、会報誌の送付を停止いたします。

* 2025年ドイツ語春期講習会

3月1日(土)から28日(金)まで、春期講習会を開催いたします。4月開講予定の速習クラスのおためし講座、ミュージカル「エリザベト」から萌えフレーズを学ぶ講座、恒例の「体育会系ドイツ語部」など、様々なアプローチで短期間で効果的に学ぶ13のドイツ語講座と2つの文化セミナーを予定しています。いずれのクラスも単発1日～5日間の短期集中講座で、特に強化したい部分や興味にあわせて効率的に学んでいただけます。オンラインでの開催ですので、ネット環境があれば日本各地、世界各地からご参加いただけます。詳細は同封のパンフレットか協会ウェブサイトでご確認ください。

https://www.jdg.or.jp/deutschkurs/dk_intensiv/

* 2025年度 ドイツ語講習会上半期コース

4月から協会のドイツ語講座の新学期が始まります。ほとんどのクラスがオンラインでの開催です（一部対面開催のクラスもあります）。ドイツ語ネイティブと日本人の教師がおり、それぞれの良さを活かした授業を行っています。月ごとにテーマが変わる「学問のための基礎ドイツ語」クラスは、1か月単位での参加が可能です。体験受講などについては事務局にご相談ください。

* 研修生交代

エリザベト・ハーライターさんの研修は3月末までとなります。あと1か月、どうぞよろしく申し上げます。4月から9月末まではゼルマ・バネルトさんが研修を行う予定です。

ドイツ語講習会

2024年度下半期コース

火～日曜日

Deutschkurse in der JDG

Oktober 2024 - März 2025

jeden Di.-So.

新年の集い

1/10 (金) 16:00～19:00

Neujahrsfeier

Datum: Fr., 10. 1. 25, 16.00-19.00

約40名の会員と協会スタッフが新しい年を共にお祝いしました。最初に恵谷副会長から新年のご挨拶があり、昨年リニューアルした協会ウェブサイトのご案内や、今年のイベントにもぜひ積極的にご参加ください、というお声がけがありました。森理事の乾杯の音頭の後、おつまみをいただきながらの懇親会となりました。

新しく入会された方や、ドイツ語講座の受講生、定期開催されている勉強会・研究会のメンバーの方々も参加しており、にぎやかに懇談されていました。協会からはお寿司やサンドイッチ、ドイツワイン、おつまみ等を提供いたしました。多くの方が持ちよってくださったお酒やお菓子もテーブルに並びました。会が終わった後は、たくさんの空き瓶と空き缶の山が…。皆さんよく飲みました。楽しい新年会で幕を開けた日独協会の2025年。充実した1年になりそうです！



新年の集い

ドイツ時事問題研究会 第106回

1/18 (土) 15:00～17:00

Studiengruppe "Deutschland aktuell" (106)

Datum: Sa., 18. 1. 25, 15.00-17.00

1月の主なトピックスは、①Die Welt紙が掲載したイーロン・マスク氏によるドイツの極右政党AfD礼賛文書の影響と同氏の認識不足をめぐる議論、②これまでで最高の62.7%にまで上昇した2024年の純発電量に占める再生可能エネルギーの割合とその背景、③連邦議会選挙を控えてifo経済研究所が提言し、キール世界経済研究所が支持した投資および労働の活性化のための大幅な税制改革の概要、④緑の党の首相候補ハーベック経済大臣が提唱した資本収益に対する健康保険料の賦課案に対して高まった批判、⑤トランプ政権が関税を10～20%引き上げ、他国が対抗措置をとった場合、ドイツで30万人が失業すると推定した

マクロ経済・景気研究所の試算などを取りあげ、経緯などを含めて報告、質疑応答を行った。

「今月のテーマ」では「ドイツの高齢者問題」を取りあげ、新井氏から増加をたどり多様化する高齢者の生活実態や支援の必要性に関する政府報告書を基に報告。参加者の間で日独の年金制度、高齢者の生活の相違を中心に議論が高まった。(伊崎 捷治)

シュプラッハトレッフ (日独言語交換会)

1/18 (土) 19:00～20:40

Sprachtreff

Datum: Sa., 18. 1. 25, 19.00-20.40

参加者39名。日本人20名、ドイツ人19名でした。

今回は、「クリスマスや年末年始をどのように過ごしましたか」と「新年の抱負」について話しました。前回のテーマは「クリスマスやお正月をどのように過ごしますか」だったので、予定と実際を比べることができました。

私のグループは年末年始について少しだけ話しましたが、皆は家族や友達と一緒に祝ったそうです。ドイツと日本で同じように過ごすかわかり、心温まりました。その後、新年の抱負について話しました。日本人の参加者は「仕事を全力で頑張るつもりだ」と言っていました。ドイツ人の参加者は逆にゆっくり働きたいと考えているようでした。文化の違いを感じますね。また、ドイツ人と日本人の参加者の間でも共通点がありました。例えば、皆さん、自分の言語能力を向上させたいと考えていました。

最後に自由に話す時間があり、音楽について話しましたが、グループの中にはミュージカルのファンが多くいました。Sprachtreffで、グループのメンバーの違いや似ている点について話すのはいつも本当に面白いと思います。(エリザベト・ハーライター)

独逸塾

1/20 (月) 19:00～21:00

Gesprächskreis: Neuigkeiten aus Deutschland

Datum: Mo., 20. 1. 25, 19.00-21.00

記事は“Fragen und Antworten zum Bürgergeld“

1) ドイツ政府は年間約500億ユーロ(約8兆円)の予算を投入し市民手当(Bürgergeld)制度を作り上げた。背景に①経済格差の是正②長期失業者の支援強化③社会的連帯の促進④教育と再訓練への投資がある。市民手当制度は貧困対策だけでなく社会全体の連帯を強調した福祉政策である。

2) 市民手当を受ける人は労働可能。失業保険や子供手当があっても現在の収入で家計を賄えない人々が受給できる。

3) 市民手当の受給金額は家族構成により月300ユーロから500ユーロである。

2. 記事は“Lindner will bei Bürgergeld kürzen - Scholz reagiert kühl“

1) リントナー財務大臣は市民手当の圧縮を考えており、ウクライナ人への手当の縮小で数十億ユーロ圧縮できると述べている。しかし政府内では労働大臣フェルトウス・ハイル (SPD) はこの提案をあまり好ましくないものと思っていない。またシオルツ首相も冷たくあしらっている。

2) ロシアのウクライナ侵攻後 120 万人のウクライナ人がドイツに保護を求め入国した。そのうち約 65% の人々が市民手当を受け取っている。

3) 外国人は全体で 270 万人が市民手当を受け取っている。

4) 「リントナーは貧乏人を追放し彼らの暖房のスイッチを切るつもりである」と左派党のロレンツ・ゲスタ・ボイティンが述べている。

ドイツ語の解釈をめぐり活発に議論が交わされた。

(森永 成一郎)

新春懇談会サロン

1/20 (月) 18:00~19:30

お知らせ Mitteilungen

Die Brücke への寄稿のお願い

Aufruf zu Beiträgen für die Brücke

日独関連の活動の紹介やエピソード、紹介したいドイツ語圏カルチャー (本、音楽、映画、趣味)、日本の中のドイツ (おすすめのお店、レストラン、場所等)、ドイツに関する体験談やドイツ語学習法などについて、ご寄稿をお待ちしています。また、シリーズ「私とドイツ」の記事も募集しています。執筆をご希望の方は、事前に編集部までご連絡ください。

広告掲載・チラシ封入のご案内

Über die Anzeigen und Flugblattbeilagen

Die Brücke 本誌への広告掲載料は下記のとおり。

1 ページ 80,000 円 / 1/2 ページ 40,000 円 /

1/4 ページ 20,000 円

チラシ封入料：法人会員 20,000 円

個人会員 25,000 円 / 一般 30,000 円

広告掲載ご希望の場合は編集部にご連絡ください。

日独協会セミナールーム (オンライン同時配信あり)

Gesprächsalon

Datum: Mo., 20. 1. 25, 18.00-19.30

Ort: Seminarraum der JDG (+Online Übertragung)

参加者 (対面) 17 名、(オンライン) 23 名

講演者：八木毅大使 (日独協会副会長)

今回はハイブリット型式で開催、遠くはライブツイヒ在住の方にもご参加頂いた。大使のお話は昨年 11 月に刊行されたメルケル前首相の 700 ページを超える回顧録について。標題“Freiheit”「自由」を驚くべき短時間にお読み頂き、面白そうな部分を解説頂いた。主に①ウクライナの NATO 加盟②天然ガスのロシア産ガスへの依存問題③難民受け入れ問題④対 EU 問題⑤トランプとの関係・トランプの評価⑥中国との関係に付いて述べられ、大変興味深いお話であった。

(佐藤 勝彦)

※会場が書かれていないイベントはオンラインで開催されました。

新着図書 Neues Buch

『ドイツの心とこのうシンプルな暮らし 365 日』

久保田由希著 出版：自由国民社
1 日 1 テーマで 365 日分、ドイツの暮らしのあれこれが綴られています。ドイツの日常のささやかな気づきと素敵な写真満載の本です。



事務局こぼれ話 Episödchen aus Büro

SNS で反響の大きかった投稿を紹介いたします！

昨年末のある日、研修生エリザベトさんの机の上には、下の写真のようなものを発見！これは何？？エリザベトさんに聞いてみるとウィーンではクリスマス前の時期、このようにみかんにクローブを刺して、暖房の上などに置き、温まったみかんから出る香りを楽しむそうです。柑橘系のフルーツとクローブが「クリスマスの香り」になるんですね 🍊。



会報誌 Die Brücke への投稿募集！

1990 年の東西ドイツ統一から 35 周年の今年、Die Brücke では、ベルリンの壁崩壊と統一にまつわる会員の皆様からの投稿を募集します。統一前後のドイツでの体験、知人や友人の反応、統一後の変化を感じた瞬間など、皆様の体験や感想をお待ちしております！

投稿は複数号に分けて掲載の予定です。投稿は 300 文字以内で協会のメールアドレス jdg@jdg.or.jp 宛てに、または右の QR コードを読み取った先の専用投稿サイトからお送りください (文字数についてはご相談いただくことも可能です)。

メールの場合は件名を「会報誌投稿」とし、必ず氏名をお書きください。

(誌上での掲載名はイニシアルでも可)。なお、全員の投稿を掲載できない可能性がある点を予めご了承ください。



(公財)日独協会が開催する催物のご案内です。申込方法は次の通りです。

- ① 会場の記載のないものは ZOOM を使用したオンライン開催となります。
- ② 事前申込制・先着順の受付となります。
- ③ 日曜日、月曜日は受付作業、お問合せ等の対応はできませんので、あらかじめご了承ください。

※ いただいた個人情報はイベント開催に関するお手続き以外には使用いたしません。

日独協会の概要及び催物最新情報はウェブサイトでもご覧頂けます。▶ <http://www.jdg.or.jp>

問合せ E-mail : jdg@jdg.or.jp Tel. : 03-5368-2326 (月～金 14:00～17:00) Fax. : 03-5368-2065

◇(対面)第5回 ドイツの詩をドイツ語で朗読する集い◇

日時：2025年3月3日(月) 14:30～(開場：14:00)

会場：ベヒシュタイン・セントラム 東京ザール(東京都千代田区有楽町 1-5-1 日比谷マリビル地下1階)
TEL. 03-6811-2925

会費：500円(会場費として)

世話役：藤田 明先生(日独協会評議員)

※当日朗読を希望される方は、訳詞を印刷しますので藤田先生(携帯 090-2523-5040)までご連絡ください。

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

今回は、Heidenroslein (Goethe)、Die Forelle (Schubart)、Geheimes (Goethe) などの詩を朗読します。詩の生まれた時代や風景に思いを馳せてみませんか？ドイツ語の詩に興味のある方、どうぞお越しください。ご自身で朗読を希望される方のご参加も大歓迎です。

◇(対面)新春特別講演会「変わりゆくドイツ：ボン共和国からベルリン共和国へ」◇

講師：柳秀直 前駐ドイツ連邦共和国特命全権大使

日時：2025年3月7日(金) 講演会 18:00～19:30 会員懇親会 19:30～21:00

会場：ドイツ文化会館(東京都港区赤坂 7-5-56) 使用言語：日本語

対象：(公財)日独協会会員および2025年度入会予定の会員、各地日独協会会員、OAG 会員

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

(右のQRコードからアクセス可)

申込締切：2月28日 定員：先着80名 会費：無料

主催：(公財)日独協会 共催：(公社)オーアゲー・ドイツ東洋文化研究協会

後援：ドイツ連邦共和国大使館、全国日独協会連合会



長年にわたりドイツで外交経験を積み、かの国の変化を間近で見つめてこられた柳大使に、その経験や今後の日独関係の展望をお話いただきます。

◇(対面)懇談会サロン

テーマ：現代ドイツ文学における「転換(Wende)」の歴史化 —ルッツ・ザイラー『クルーゾー』を例に◇

日時：2025年3月10日(月) 18:00～19:30 申込期限：3月7日(金)

会場：日独協会事務所内セミナールーム 会費：無料 定員：24名

講師：金 志成先生(東京都立大学人文社会学部准教授)

世話人：佐藤 勝彦 理事

申込み：お名前、(公財)日独協会の会員番号、メールアドレス、電話番号を記入の上、世話人の佐藤理事までメールでお申込みください。世話人連絡先：s-kmtaym(a)nifty.com ※(a)は@に書き換えて下さい。

1989/1990年に起こったベルリンの壁崩壊/東西ドイツ統一は、当初の時事的な関心が薄まり「歴史化」したことにより、文学作品の題材としてはむしろ重要性を増しています。今回はその代表的な作品であるルッツ・ザイラーの長編小説『クルーゾー』を取り上げ、「男同士の友情の物語」という系譜から読み解くことにより、現代ドイツ文学の最新のカノンに親しむ機会を提供します。事前に白水社刊の邦訳を読まれることをお勧めします。

◇ドイツ時事問題研究会◇

日時：2025年3月15日（土）15:00～17:00 申込期限：開催2日前まで 会費：無料

テーマ：毎回参加者の提案をもとに次回のテーマ（複数可）を決定 定員：20名

世話人：伊崎 捷治 理事、新井 俊三 氏

申込み：事前にメールで参加申込みをいただいた方に世話人から「招待」メールをお送りします。

世話人連絡先 Tel：080-1137-5111 E-mail：isakis(a)snow.ocn.ne.jp ※ (a)は@に書き換えて下さい

参加者がドイツの政治、経済、社会などの分野で関心を抱いた事柄やテーマを持ち寄り、相互の情報交換やディスカッションを通じて経緯や背景を探り、日本との比較も踏まえながらドイツの現状や動向について理解を深めます。これまでに難民問題、エネルギー問題、日独の生産性の違いなどについて議論しましたが、これからもコロナ危機の克服、経済再活性化、ドイツがEUの強化や持続可能な発展などに果たす役割など、ホットなトピックスを探りあげていきます。

◇Sprachtreff（シュプラッハトレッフ）◇

日時：2025年3月15日（土）日本時間 19:00～20:40 ドイツ時間 11:00～12:40

会費：（公財）日独協会会員：無料 / 一般：2,000円 定員：50名程度

担当：エリザベト・ハーライターさん、芦野 淳子さん

参加条件：語学交換を積極的に楽しみたい方（目安レベル：A1.2以上）

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

Sprachtreff はオンラインで開催している語学交換会です。レベルごとに少人数のグループに分かれて日本語とドイツ語で40分程度ずつおしゃべりをします。（上級はテーマと言語の時間指定はありません）。また、B1レベルまでのグループにはサポーターが付き、会話のお手伝いをします。

◇独逸塾：「ドイツのニュースを楽しむ会」◇

日時：2025年3月17日（月）19:00～21:00（18:30からオンライン上で開場）

申込期限：開催前週の金曜日まで 会費：無料

世話人：森永 成一郎 氏

申込み：新規参加希望の方は、会員資格の有無、メールアドレス、電話番号を記載の上、協会までメール（jdg@jdg.or.jp）でお申込みください。

ドイツのニュースを取り上げ、読むだけでなく、背景となるドイツ事情を学ぶ独逸塾。ドイツ語初級文法を一通り終えた方向けで（新聞記事には間接話法が多用されるため、接続法も習得されているとなお良いでしょう）、「お試し参加」、聴講のみも可能です。

◇文化セミナー169：総選挙後のドイツはどこへ？—報道とデータでみる最近の政治・社会情勢—◇

講師：高島 亜紗子 先生・小野 竜史 先生

日時：2025年3月14日、28日（金）18:30～20:30

会費：（通し・4時間）（公財）日独協会会員・今学期ドイツ語受講生 3,000円 / 一般 4,000円

（単発・2時間）（公財）日独協会会員・今学期ドイツ語受講生 2,000円 / 一般 2,500円

申込み：協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

本講座では2回にわたり、国際関係論と歴史学の2人の研究者が総選挙後の政治情勢を解説し、その行方について皆さんとともに考えます。第1回では総選挙の結果、第2回では連立をめぐる各党の動きが中心となる予定です（※情勢に応じて、内容は大きく変更となる可能性があります）。

連邦議会選挙でAfDがどこまで議席を伸ばすのか、他党は一民主的に支持を得た—AfDと、どうかかわるべきか、現在のドイツ政治では民主主義そのもののあり方も問われています。世界的にポピュリスト政党の台頭が話題となっている今、ドイツ政治の観点から改めて議論したいと思います。

◇（対面+オンライン）

文化セミナー170：ドイツ鉄道で安く！幻想のドイツを旅する～南ドイツから王都ドレスデンを目指す旅◇

講師：大畑 悟氏（ドイツ観光局広報マネージャー）

日時：2025年3月21日（金）19:00～21:00

会費：（公財）日独協会会員・ドイツ語受講生 2,000円 / 一般 2,500円

申込み: 協会ウェブサイトのオンラインフォームからお申込みください。

ドイツ鉄道乗り放題券を駆使してドイツの街々を巡れば、安く！幻想の中世ヨーロッパを楽しめます。日本から直行便の飛ぶミュンヘン空港から北上し、幻想的な中世都市や城の多いバイエルン州とザクセン州をめぐり、王都ドレスデンを目指す旅がおすすめです。今回はロマンチック街道、フランケンの中世世界、幻想帝国ザクセン、王都ドレスデンを中心に、幻想世界に浸ることができる具体的な場所やお店も紹介させていただきます。

◇ (対面) 花見 ◇

日時: 2025年3月29日(土) 12:30~15:00

会場: 練馬区光が丘公園 (予定: 芝生広場) 開始時刻までに下記サイトに詳しい場所をお知らせしますので、必ずご確認ください。 <https://www.jdg.or.jp/2025hanami/> 会場にはドイツの旗を掲げるつもりです。

持ち物: 食べ物・飲み物・お皿・紙コップ・レジャーシートは各自持ち寄り下さい。

お申込: 不要

※ 悪天候の場合は中止となります。中止の場合は協会ウェブサイトに当日10時までに告知いたします。

※ 当日は会場となっている「光が丘公園」でイベント「Cherry-Blossom Festa 2025」が行われています。飲食物の屋台も出る予定です。

※ 花見で出たごみは各自公園のごみ集積場に持って行くをお願いします。



前回のお花見の様子

Wir laden Sie ganz herzlich zu unseren kommenden Veranstaltungen ein und bitten Sie, sich wie folgt anzumelden:

1. Wenn kein Veranstaltungsort erwähnt wird, findet die Veranstaltung online statt.
2. Sofern notwendig müssen Anmeldungen im Voraus erfolgen. Anmeldungen werden von uns der Reihe nach bearbeitet
3. Bitte beachten Sie, dass wir sonntags und montags keine Anmeldungen oder Anfragen beantworten können.

Informationen zu den aktuellen Aktivitäten der JDG finden Sie jederzeit auf unserer Internetseite (<http://www.jdg.or.jp>).

E-Mail: jdg@jdg.or.jp Tel.: 03-5368-2326 (Mo.-Fr. 14:00~17:00 Uhr) Fax.: 03-5368-2065

Sprachtreff (Online-Gruppentandem)

Datum: Samstag, der 15. März 2025, 11:00-12:40 Uhr deutscher Zeit (19:00-20:40 Uhr japanischer Zeit)

Beitrag: Deutschsprachige Teilnehmer • Mitglieder der JDG Tokyo: kostenlos / Alle anderen: 2.000 Yen

Anmeldung: Über das Online-Formular auf unserer Website

Der Sprachtreff schafft eine einmalige Plattform für sprachinteressierte Leute jeden Alters, die Deutsch bzw. Japanisch lernen und sich über unterschiedliche Themen unterhalten möchten. Es werden maximal 50 TN zugelassen, um die Gruppen klein zu halten. Wir bitten darum, sich zum Sprachtreff anzumelden, wenn Sie bereits in der Lage sind, sich aktiv an Gesprächen zu beteiligen, also etwa die Stufe A1.2 erreicht haben. Die Japanisch-Deutsche Gesellschaft freut sich auf Ihre Teilnahme.

Hanami

Datum: Samstag, der 29. März 2025, 12:30-15.00 Uhr (Sie dürfen kommen und gehen, wann Sie wollen)

Ort: Hikarigaoka Park (Nerima) Der genaue Veranstaltungsort wird Ihnen vor der Beginnzeit auf der folgenden Website mitgeteilt. <https://www.jdg.or.jp/2025hanami/>

Wir werden am Ort des Hanamis die deutsche Fahne aufhängen .

Bitte mitbringen: Essen, Getränke, Teller, Pappbecher, Picknickdecken

※ Keine Anmeldung notwendig

※ Bei schlechtem Wetter wird die Veranstaltung abgesagt. Im Falle einer Absage wird am Tag der Veranstaltung bis 10 Uhr eine Mitteilung auf der Website des Vereins veröffentlicht.

※ Die Veranstaltung „Cherry-Blossom Festa 2025“ findet am Tag der Veranstaltung im Hikarigaoka-Park statt. Dort werden Stände mit Speisen und Getränken vorhanden sein.

※ Bitte bringen Sie Ihre Abfälle zur Müllsammelstelle im Park.